

地区退教協の紹介

阿蘇 児玉・史朗



阿蘇退教協の最大のお楽しみイベントは秋の遠足です。景色を楽しみながら弁当を食べるのは、子どもならずとも楽しいものです。おまけに、会員の中にガイドが数名いますので、山や植物、歴史の話にも花が咲きます。しかしながら、二〇一六年は大地震で交通が遮断され、中止。その上、会員の高齢化のために目的地や内容を検討せざるを得ませんでした。そこで、二〇一七年から新たに「懐かしの

学校巡り」を始めました。阿蘇地区は北は小国から南は旧蘇陽まで管内が広く、近年までは道路事情も悪かったため、退職後に訪れる機会は多くありません。そのうえ菊池郡や熊本市に居住する会員にとっては尚更のことです。「昔赴任した学校は今どうなっているのか」「校区の様子は変わったのだろうか」と総会での提案は即受け入れられました。一年目は旧波野村の総合前の五小学校跡地と統合後の小学校中学校を巡り、二年目は旧蘇陽町で、今は廃校となっている二瀬本・菅尾・大野・長谷・東竹原の各小学校を巡り、そして三年目の昨年は小国郷の小学校から、杉室・蓬萊・満願寺・星和各小学校を巡りました。

廃校となっても校舎・校庭が残っていればおのずかと思いが蘇ります。一人の思い出話を聞いてみると、当時の自分の思い出と重なって懐かしさがこみ上げてきます。参加した会員の笑顔は予想以上のものでした。今年も二巡り目を予定していましたが、コロナのためやむなく中止しました。阿蘇への交通状況も良くなりました。来年は再開できそうです。楽しみます。

心から歓迎します

父母との穏やかな時間

熊本 緒方 利美



私は、小学一年生の時の担任の先生が大好きで「私も学校の先生になりたい」と思い教職の道に進みました。そして、小中学校合わせて四三年間、この仕事を続けることができてとても幸せでした。出会った子どもさん達、保護者の皆様、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

二〇一九年一月に、父が免許返納をしてくれたのを機に、教職生活にピリオドをうつことにしました。四月からは、父母の通院や買い物等の送迎をしたり、家庭菜園で野菜を作ったり、庭木の剪定や草取りをしたりと、父母との穏やかな時間に幸せを感じながら過ごしています。また、しおりをはさんだままになっていた本を開いてゆっくり読書を楽しんだり、新聞を一時間くらいかけて読んだり、ゆったりと流れる時間を満喫しています。長年続けてきた「ママさんバレー」では、

新加入の方へ

高校時代一緒に頑張った同級生が六人も集まり、笑いながらも真剣にバレーボールを楽しんでいます。娘の「四三年間、頑張ったごほうびたい。」の言葉にあまえて、やりたいことをやりながら心も体も元気に過ごしています。

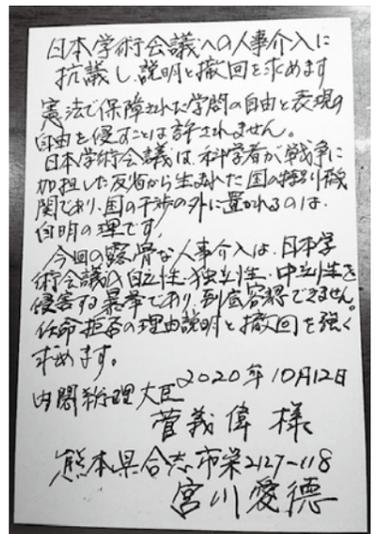
「平和憲法を活かす熊本県民の会」からのお知らせです

副会長 牛嶋武良子

- ① 平和憲法の推進（日本の軍事大国化反対・核兵器廃絶・自衛隊海外派兵反対）
- ② 政治の浄化と民主化（政党助成金と企業団体献金の廃止・女性の政治参画促進）
- ③ 基本的人権の擁護（男女平等社会の推進・部落差別の根絶・障害者の自立と社会参加の推進・在日外国人や子どもの権利擁護）
- ④ 憲法遵守の民主教育の確立（国家権力の教育介入反対・教科書採択制度の民主化）

日本学術会議への人事介入は許さないぞ！

事務局長 桑本 謙



菅政権が、日本学術会議が推薦した会員候補のうち六名の任命を拒否しました。理由を求めると祝文のように「総合的、俯瞰的に」とはぐらかすばかりです。特定秘密保護法や安保法制に反対し、安倍政権の「戦争ができる国づくり政策」に批判的な学者を強権的に排除したのである。政権にとって都合の悪い人

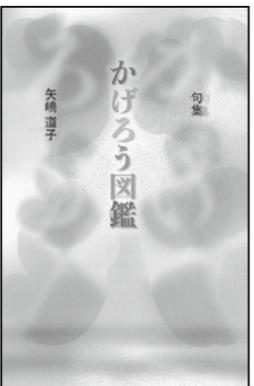
間を排除し学術会議を御用機関化するのが狙いであることは明白です。日退教ではすぐに抗議行動を開始。それを受けて、熊退教でも重要課題と位置付けて、「菅政権の露骨な人事介入は、憲法で保障された学問の自由と表現の自由、日本学術会議の自立性・独立性を侵害する暴挙である。」ことを確認し、熊退教独自で抗議のはがきを制作、全地区に協力依頼し、内閣総理大臣菅義偉宛ての「抗議ハガキ行動」を実施しました。現職他関係団体のご協力も得て、確認できただけでも熊本から二〇〇通を超えるはがきが内閣官房に届けられています。国会前では、今も有志による抗議デモが実施されています。今後も、国民無視の「忖度全体主義菅政権」の暴挙を許さない運動を共に展開していきましょう。

会員の方

非効率を楽しむ…私と俳句

菊池 矢嶋 道子

陽炎まで七歩の街に生きている
原爆忌飛べない鶴を折り続く
行間に父の戦後史雁渡る
ざら紙に未完の戦記いわし雲
赤紙の来そうな水位冬の月



人生、先のことはわからないと言いが、私と俳句との出会いもまさにそう。

菊池支部の役員をめでたく(?)卒業したある日、「年取った時に何か趣味があった方がいいよ」との誘いに、軽い気持ちで俳句会なるものに顔を出したのがこの始まり。この句会の月一回の例会には当季五句を出すことになっっているのだが、元々、俳句に興味関心があつたわけではなく、今でも題材・語彙等の乏しい私には、句作は難行苦行。それでも句

会への参加が続いているのは、先生や句友達の作品からの刺激が、私の次への意欲につながっているからだろう。そんな「はい苦」の日々の中、一昨年は、俳句を始めて二十年、古稀を迎えたのを機に、句集「かげろう図鑑」を編み、近年は、俳句大会への投句にも挑戦したり。

俳句は、費やした時間の分、いい句が生まれるとは限らず、つくづく効率の悪いものだと思う。が、もうしばらくは、この非効率の世界を楽しみたいと思っている。

自転車保険としてもご利用いただけます！お問い合わせもお気軽にどうぞ！

教職員の皆さまと そのご家族の安心な毎日のために。



厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合
熊本県事業所
TEL 096-372-1311
〒862-0976 熊本市中央区九品寺1-11-4



■レスキューズリーは、教職員共済の「交通災害共済」と、損害保険会社の「傷害総合保険」を組み合わせたものです。
■この広告はレスキューズリーの概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。承18-企-62(1902)

教職員共済

- 交通事故は通常のケガよりも手厚く補償
- 日常的におこるほとんどのケガを補償
- 自転車事故などの損害賠償責任も補償

ケガ・事故・賠償
レスキューズリー
交通災害共済